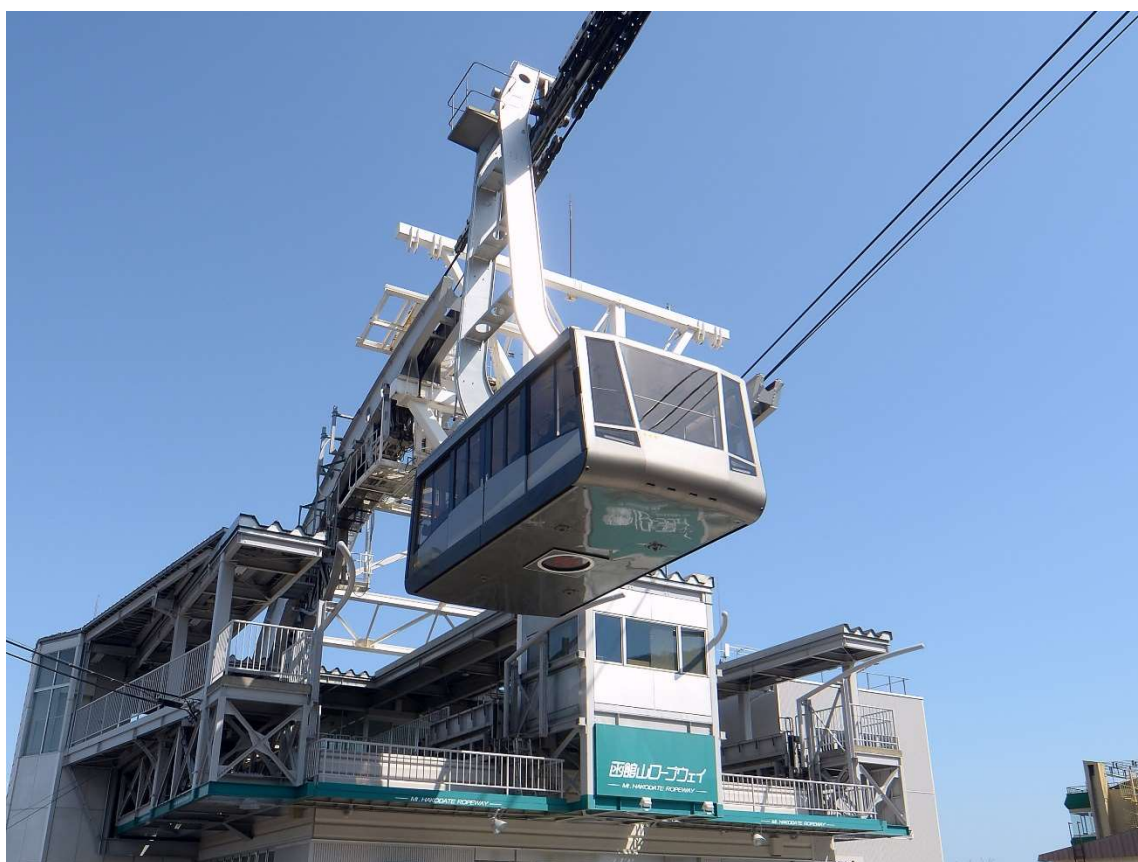


安全報告書 2025

(2024年度分)



函館山ロープウェイ株式会社

1. ご挨拶

皆様には、日頃より函館山ロープウェイをご利用いただき誠にありがとうございます。

ロープウェイの運行にあたりましては、常に「安全こそ基本である」をモットーに、利用される皆様に安全かつ安心してご乗車いただけるよう従業員一同日々業務に取り組んでおります。

さて、弊社の2024年度の輸送人員ですが、函館市を舞台として製作された劇場版「名探偵コナン」の聖地巡礼を目的とした旅行者の来訪をはじめ、クルーズ客船の寄港数が59隻と過去最多となったことや台湾直行便の再開など、国内の皆様や台湾、中国など多くの外国の皆様方にもご利用いただき、北海道新幹線開業時の2016年度を上回るお客様をお迎えして創業以来初めて200万人超えを達成しました。しかしながら、人流回復による利用者増の恩恵を受ける一方で、過去には見られなかったような混雑問題が顕在化しています。これは、スマートフォンやSNSが普及し誰もが情報発信者となる時代に移行するなかで、インバウンドのお客様の旅行形態も団体から個人へと大きく変化をした結果、山頂展望台でのお客様滞在時間が長期化したことや、いわゆる2024年問題と言われるバス運行を取り巻く諸情勢によりバスの運行便数が減少したことなどが背景にあるものと考えています。弊社としては、お客様満足度の低下を懸念しており、現在、函館市様をはじめ関係者とともに様々な対策を講じつつあります。

こうした状況下、本年度は制御装置やメインモーター・減速機などの交換作業を行うこととしており、秋の整備点検が32日間となることから、多くの利用者や地域の皆様に多大なご迷惑をおかけすることとなりますが、ご理解とご了承を賜りますようお願い申し上げます。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、弊社における輸送の安全確保のための取り組みや実態についてまとめたものでございます。安全管理体制を今後さらに充実させていくため、皆様からの忌憚のないご意見、ご感想等をお聞かせいただければ幸いに存じます。

これからも、函館山ロープウェイをよろしくお願い申し上げます。

函館山ロープウェイ株式会社

代表取締役社長 浅井 忠美

2. 基本方針と安全目標

(1)基本方針

- 「安全こそ基本である」
- 一致団結して輸送の安全の確保に努めます。
- 輸送安全に関する法令及び関連する規程（本規程を含む。以下、「法令等」という。）をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いをします。
- 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
- 情報は漏れなく、迅速且つ正確に伝え、透明性を確保します。
- 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

(2)安全目標

「2025年度も無事故を最大の目標とし、安全運行を徹底する。」

2024年度は、事故なく安全に運行することができました。

2025年度も引き続き、注意深く点検、確実な整備、必ず確認（指さし・声掛け・作業手順）などの安全対策を徹底し、安全運行に努めます。

3. 事故等の発生状況

(1)索道運転事故

2024年度、索道運転事故はありませんでした。

(2)災害

2024年度、災害による運行停止はありません。

悪天候によるものは28回、運行を中止しました。

(3)インシデント（事故の兆候）

2024年度、インシデント報告はありませんでした。

(4)行政指導等

2024年度、行政指導はありませんでした。

4. 輸送の安全確保のための取組み

(1) 人材教育

- 当社では、係員に対し教育訓練を行い、作業を行うのに必要な知識及び技能を保有していることを確認し、当該作業を行わせる。
- 係員が知識及び技能を十分に発揮できない心身状態にあると認められたときは、その作業を行わせる。
- 係員の資質の充足状況に疑義のある報告を受けた場合、知悉度を確認した上で必要な教育計画を策定し、教育訓練を実施する。

(2) 安全講習の受講

- 除雪車両による交通事故防止のため、函館自動車学校による安全運転講習の受講を実施した。



(3) 技術ミーティングの実施

● ミーティングの主な内容

- ・ 作業中の安全確保と作業手順書の効果的方法について。
- ・ 2024年度の一年整備点検の作業内容や役割分担・交換部品の準備について。
- ・ 若手社員の教育実施について。
- ・ 次代を見据えた索道設備投資計画について。



(4) 緊急対応訓練の実施

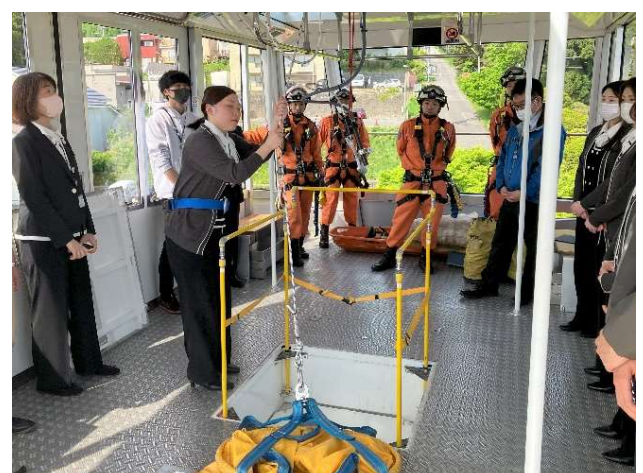
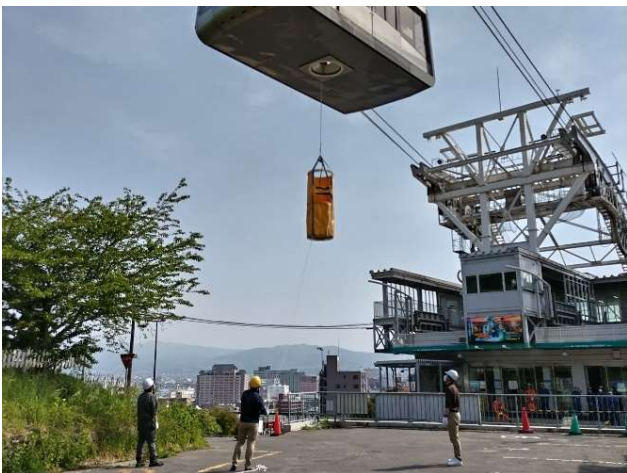
事故発生時における対応を定めた運転取扱細則及び救助作業要領に基づき、係員が迅速かつ的確に対応できるように、係員の役割を定めるとともに、定期的に救助等に関する訓練を実施。

また、2024年度は、函館市消防本部と合同で、担架を使用した救助訓練も実施した。

●予備原動機運転訓練



●救助装置取扱い訓練及び器具点検



●函館市消防本部との合同訓練



(5) 2024年度実施の安全対策(一年整備項目)

作業期間:2024年10月18日(金)～11月10日(日) 依頼業者:安全索道株式会社

1. 中間ステー索交換 <安全索道>

1988年の設備大型化から未交換(2007年に状態確認のため2号内側のみ交換作業を実施)のため、交換作業を実施した。



2. 搬器自動扉送受電装置交換 <安全索道>

設置(1997年)から27年が経過し、経年使用による劣化がみられるため交換作業を実施した。
山頂側のトローリー線は、山頂での客車停止位置が満車状態で低い位置にあっても通電できるよう、
300mm長い物に変更した。



3. 誘導滑車ベアリング交換 <安全索道>

前回交換(2015年度)から9年が経過、オイルシール部から油漏れが発生し、ベアリングも破損の恐れがあるため、交換作業を実施した。



4. 減速機保守点検 <住友重機>

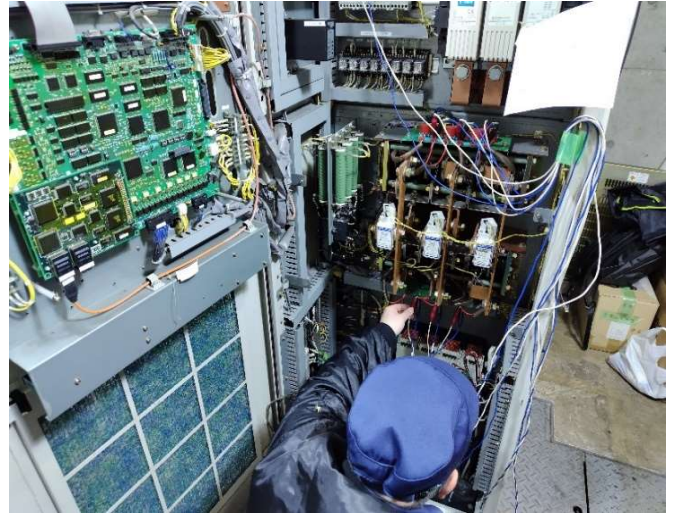
減速機軸受振動検査と軸温度検査・内部検査を実施した。特に異常は見られなかった。



5. 制御装置保守点検 <三菱電機>

シーケンサ制御盤・サイリスタ盤の保守点検・調整及び盤内の清掃を実施した。

走行試験・制動試験・荷重試験を実施しデータを採取したが、異常は見られなかった。



6. 原動機保守点検 <三菱電機>

メインモーター内の整流子やブラシ等の点検及び調整を実施した。特に異常は見られなかった。



7. 各油圧装置油圧ユニット・減速機オイル交換 <平和石油>

えい索緊張装置及び制動装置・移動式栈橋・クランプ取り外し装置の油圧ユニットと主減速機と予備減速機のオイル交換を実施した。



8. 油圧装置保守点検 <ユケンサービス>

えい索緊張油圧ユニット・制動装置油圧ユニット・クランプ油圧ユニット・移動式栈橋油圧ユニットのオイルフィルターとOリングの交換やポンプ圧の調整・プレッシャースイッチの確認・アキュムレーターのカムチェック等の点検作業を実施した。また、制動装置油圧ユニットのアキュムレーターやえい索緊張油圧ユニットのバルブ・ストップバルブを新品と交換した。



9. 機械装置保守点検 <安全索道>

(1) ギアカップリング点検

ギアカップリングを切り離し、清掃後に点検を実施した。点検後、グリースを塗布しカップリングを組み込む。



(2) 客車ハンガーアクスル ディスクブレーキ部点検

ブレーキパット及びディスクの摩耗量を測定し、研磨・清掃を行う。



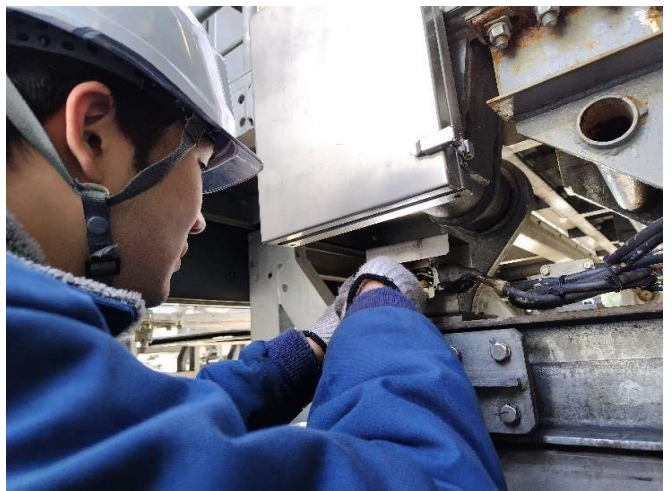
10. 受索輪交換 <当 社>

受索輪の交換作業を実施。今年度はゴムライナーとベアリングの交換作業を行った。



11. 移動式栈橋総点検 <当 社>

油圧シリンダーや油圧ユニット・緩衝器・はね橋可動部・リミットスイッチの点検と各所の給油等を実施した。



12. 搬器自動扉部品交換 <当 社>

1号車自動扉のモーターや電源ユニット・ミニリレー・スイッチ類の交換作業を行った。(2号車は次年度実施予定)



13. 整備・点検・その他 <当 社>

(1) クランプピン探傷

クランプピンの探傷を実施した。また、取り外した握索子ピンの探傷も同時に実施。



(2) 滑車給油

原動・遊動・緊張滑車の給油を実施した。



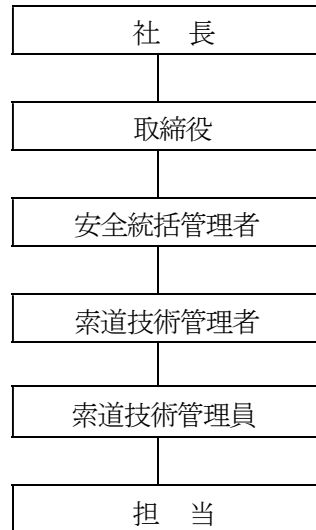
(3) 予備原動機 及び 予備発電機 オイル交換

予備原動機 及び 山頂と山麓の予備発電機のオイル交換を実施した。



5. 安全管理体制

社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしております。



社 長 輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。

安全統括管理者 索道事業の輸送の安全確保に関する業務を統括する。

索道技術管理者 安全統括管理者の指揮の下、索道の運行の管理、索道施設の保守の管理、その他の技術上の事項に関する業務を統括する。

索道技術管理委員 索道技術管理者の指揮の下、索道の運行の管理、索道施設の保守の管理、その他の技術上の事項に関する業務について、索道技術管理者の補助をする。

6. お客様からのお声

「お客様のお声をかたちにしていきます。」

お客様の期待に応えられるよう、お客様の立場にたったサービスの提供に努めています。

皆様からお寄せいただいたお声は真摯に受止め、より信頼される索道をつくるために役立てます。

トップページの「お問い合わせ」からお寄せ下さい。